

平成29年度 企画提案型協働事業  
関連課事前協議チェックシート

提案者名：特定非営利活動法人 谷田武西の原っぱと森の会

提案事業名：武西の里山 保全と調査事業

関連課等名：環境保全課

班等名：環境保全班

担当者名：須藤 伸治

内線等：364

提案書及び登録申請書の内容を確認の上、以下の設問に回答してください。

(1) 市民ニーズについて

- 1 市民ニーズはある
- 2 ある程度の市民ニーズはある
- 3 どちらかとも言えない
- 4 どちらかという市民ニーズがあるとは言えない
- 5 市民ニーズがあるとは言えない

(具体的理由)

H29.8に実施した「環境に関する市民意識調査」において「市内の残したい環境」の設問に対し「自然環境、里山、動植物」が最も多い回答数であった。

「自然環境、里山、動植物」…本埜の白鳥田、原付近の谷津、草深の森、結縁寺付近の里山、武西の里山

(2) 市の基本計画の施策体系や実施計画などとの整合性について

- 1 整合性がある
- 2 整合性がない
- 3 どちらともいえない

(具体的理由)

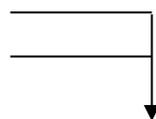
印西市第2次基本計画

(政策の方向性より)

「私たちの生活にうるおいとやすらぎをもたらす水辺(利根川、印旛沼、手賀沼)や里山などの豊かな自然環境を市民とともに保全・活用し、未来に継承していきます。

(3) 法令上の問題について

- 1 法令上、実施できない
- 2 部分的に問題あり
- 3 特に問題なし

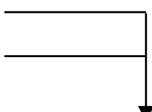


(1または2の場合の具体的理由)

Blank box for providing specific reasons for options 1 or 2.



#### (4)既に実施、または類似の事業等について

- 1 既に実施している
  - ② 類似の事業等を実施している
  - 3 実施していない
- 

(1または2の場合、その事業名や内容を記入)

市では4年に一度自然環境調査業務により(植物、哺乳類、鳥類、爬虫類・両生類、昆虫類、魚類、水鳥類、ホタル類)の市内全域における現地調査を各季節に応じて行っている。  
(調査回数、調査地区数については調査対象の種類により異なる)

#### (5)実施効果について

- 1 大きな効果が見込める
- ② 効果はある
- 3 どちらかというとな効果はない
- 4 ほとんど効果は見込めない

(具体的理由)

市が草刈業務を業務委託をするよりも、計画上、回数、面積で上回る。

#### (6)実施計画、実施方法について

- 1 具体的であり、実現性・実行性は高い
- ② 実現性・実行性がある
- 3 実現性・実行性はあまり感じられない
- 4 実現性・実行性は感じられない

(具体的理由)

既に活動実績のある団体であり実現性があるものと思われる。

#### (7)市が行う事業(委託事業等)としての妥当性について

- ① 市の事業として実施できる
- 2 多少、課題はあるが市の事業として実施できる
- 3 補助金や共催、後援等別の協働形態として実施した方がよい
- 4 市の事業としての実施は馴染まない

(具体的理由)

該当箇所の草刈業務委託を予定していることから事業として実施できる。

## (8) 事業費の積算について

- 1 妥当性があり、積算根拠もしっかりしている
- ② 一部、妥当性に欠ける部分はあるが概ね採用できる
- 3 妥当性に欠き、大幅な修正が必要
- 4 全く採用できない

### (具体的理由)

市が負担する部分の大半は人件費となっており、その単価は千葉県の最低賃金(842円)とほぼ同額である。

## (9) 提案事業を実施する場合の課題や問題点について、具体的に記入してください。

## (10) 総合的にみて、協働事業としての実施について

- 1 是非、取り組みたい
- ② 取り組むことは可能
- 3 どちらかという取り組みべきではない
- 4 取り組めない・取り組むべきでない

### (具体的理由)

事業の目的や内容については、環境保全課が実施する事業と共通する部分もあり、目的を達成するために協働して取り組んでいきたい。

